

令和7年8月22日

まちづくり委員会資料

川崎市市制 100 周年記念事業・
全国都市緑化かわさきフェアの取組について

建設緑政局

●名称・愛称

<名称> 第41回全国都市緑化かわさきフェア

<愛称> 「Green For All KAWASAKI 2024」

●統一主題(テーマ)

「みどりで、つなげる。みんなが、つながる。」

●開催期間

秋: 令和6年10月19日(土)～11月17日(日) (30日間)

春: 令和7年 3月22日(土)～ 4月13日(日) (23日間)

●来場者数

想定 160万人 → 約162万人

●会場

コア会場

: 富士見公園、等々力緑地、生田緑地

コア会場周辺エリア及びまちなかみどりスポット

: 公園緑地、駅前広場、道路、河川、庁舎、商業施設、商店街など

●シンボルマーク



Green For All
KAWASAKI
2024

みどりをツールに、人と人、人と暮らしが緩やかにつながっていく様子を、区の数である7枚の葉を重ね、市民の活動(アクション)がさらに広がっていくイメージを、多彩な色でロゴ全体を花に見立てて表現

一過性のイベントではなく、次の100年に向けて

都市の中のみどりの価値の発信、
ウェルビーイングなライフスタイルの提案、
文化・歴史・アートで紡ぐ“本物のみどり”

『全国都市緑化かわさきフェア基本・実施計画』（令和5(2023)年8月29日）

〈将来像〉

みどりでつなげる、暮らしやすく住み続けたいまち

〈基本方針〉

ア 川崎の多様なみどりの“力”を感じるフェア

- ・生物多様性や都市が抱える様々な課題の解決につながるグリーンインフラの持つ多様な機能や効果の発信
- ・身近なみどりやオープンスペースを活用して、市民一人ひとりがいきいきと居心地よく活動できる空間の創出

イ 先端技術で新たな都市緑化の“形”をつくるフェア

- ・フェアを通じて川崎の持つ最先端の技術、アイデアによる新しい都市緑化の実現
- ・市民一人ひとりのライフスタイルに応じた新しい公園の使い方の提案

ウ 多様なみどりでつなげる“行動”を生み出すフェア

- ・市民、企業等が気軽に集い、新たな出会いやつながりを生みだす場づくり
- ・多様な主体がつながり、みどりに関わる様々な取組を継続・発展しながら、川崎のみどりの新たな価値を生み出していく仕組みづくり

エ 環境・社会・経済的価値を同時に実現できる“社会”を示すフェア

- ・これまで培ってきた強みを活かして、SDGsの達成や脱炭素社会の実現に向けた、川崎のみどりが持つ多様なポテンシャルの発信

オ 川崎らしい多様性あふれる“文化”を育むフェア

- ・川崎の歴史とともに、地域への愛着を持った市民が暮らしの中でみどりと関わり、多様な文化を育む機会を創出

来場者数（秋開催、春開催の全期間）

秋開催は30日間。3つのコア会場と会場周辺エリアで約94万人が来場。
春開催は23日間。3つのコア会場と会場周辺エリアで約68万人が来場。
2期合計で、想定来場者数の160万人を超えて約162万人が来場した。



	合計	平日 (平均)	土日祝日 (平均)	平日と休日の差
富士見公園	509,000 人	8,400 人	31,700 人	3.77 倍
等々力緑地	261,000 人	4,000 人	16,800 人	4.20 倍
生田緑地	169,000 人	3,100 人	9,900 人	3.19 倍
総合計	939,000 人	15,500 人	58,400 人	3.77 倍



	合計	平日 (平均)	土日祝日 (平均)	平日と休日の差
富士見公園	206,000 人	6,800 人	12,900 人	1.90 倍
等々力緑地	343,000 人	9,500 人	16,400 人	1.73 倍
生田緑地	135,000 人	3,500 人	6,300 人	1.80 倍
総合計	684,000 人	19,800 人	35,600 人	1.80 倍

※総合計は1,000人単位、平日、土・日・祝日の平均は100人単位で四捨五入



富士見公園に約72万人、等々力緑地に約60万人、生田緑地に約30万人が来場。
春開催に向けて平日の集客につながる取組を充実させたこともあり、来場者数の平日と休日の差は、春開催では約1.7～1.9倍となった。

かわさきフェア開催による経済波及効果

かわさきフェアを開催し、運営するために川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会が支出する事業支出額と、来場者へのアンケート調査結果により算出した来場者消費額の合計を需要増加額とし、これに基づいて川崎市産業連関表、神奈川県産業連関表（ともに平成27年）により推計を行った。

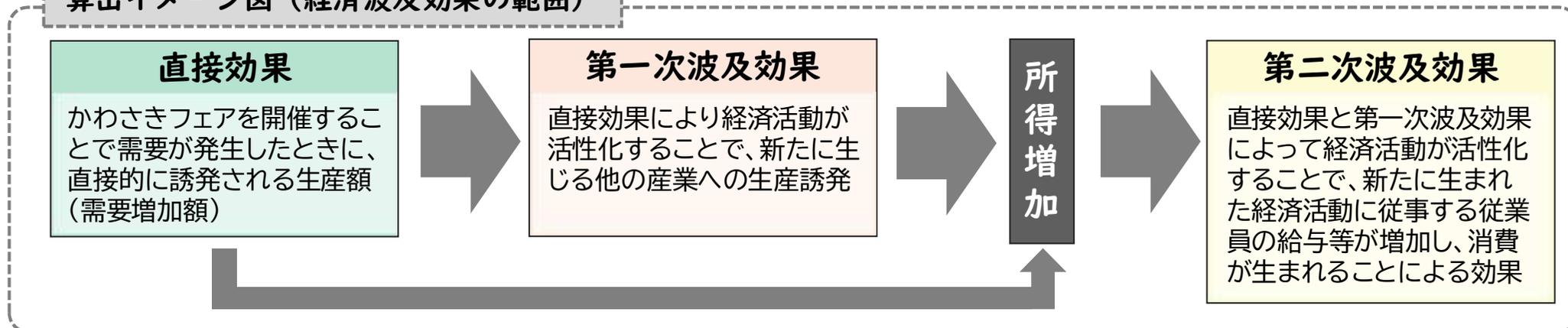
(単位：億円)

区分		経済波及効果
直接効果		93.3 (市内69.4)
間接効果		41.9 (市内19.3)
	うち、第一次波及効果	24.3 (市内12.3)
	うち、第二次波及効果	17.6 (市内 7.0)
合計		135.2 (市内88.7)

※税抜額。100万円単位で四捨五入

※第一次波及効果は、直接効果を含まない額で表記

算出イメージ図（経済波及効果の範囲）



観客誘致・広報宣伝 | 秋と春のキービジュアルの活用

秋と春でそれぞれテーマを定め、かわさきフェアへの参加や来場促進につなげるため、異なるキービジュアルで広報宣伝を実施。

- 花とみどりにフォーカスし、様々な花を集めたインパクトのあるデザイン。人の写真も入れて、自分が参加していることを想像できるように。
- “川崎らしさ”の表現としてミューザや柿、様々なアイテムを散りばめる。

- 春を感じさせる桜の淡いピンクをベースに、季節感を演出。
- 会場で楽しめるランキュラスやビオラ、ポピーを掲載し、花を全面にしたデザイン。

秋



みどりでつながる。

みどりでつながる。

Green For All
KAWASAKI
2024

全国都市緑化かわさきフェア
秋 2024年10月19日(土)~11月17日(日)

会場 | 富士見公園・等々力緑地・生田緑地ほか

春



Green For All
KAWASAKI
2024

春に、花満開!
逢いに行こう。

2025
春

全国都市緑化かわさきフェア
3月22日(土)~4月13日(日)

会場 | 富士見公園・等々力緑地・生田緑地ほか

観客誘致・広報宣伝 | シティドレッシング・会場内広報

主要駅や駅周辺をキービジュアルを活用した大規模なシティドレッシングを実施。
各会場のコンセプトに基づき、会場ごとのパンフレットを作成し、ガーデンやイベントを紹介

秋



観客誘致・広報宣伝 | シティドレッシング・会場内広報

主要駅や駅周辺をキービジュアルを活用した大規模なシティドレッシングを実施。
春は、公式マップを全戸配布するなど、より市民の手に届く工夫を行い、開催前からの周知を図った。

春



公式WEBサイトでの詳細な情報発信

- 公式WEBサイトでは、会期中の概要やイベント情報等を発信。秋会期後に、よりイベント情報が検索しやすくなるよう、ページ内の表示順などの改善を実施。結果として、春会期は平均閲覧ページ数が増加した。

	表示回数	ユーザー数	訪問数
秋会期	251,400	71,100	109,600
春会期	321,000	73,100	114,300

※100人以下は四捨五入

SNSによるタイムリーな情報発信

- 会期前の会場づくりや、コラボ企画などをSNSで積極的に発信。会期中も、現地からタイムリーに見頃の展示や週末のイベント情報を発信。
- 春会期の閉会時点で、Xのフォロワー数は、9,197人、Instagramのフォロワー数は5,804人となり、多くのSNS利用者に興味・関心を持っていただいた。

各種メディアを通じた情報の展開

- マスメディアでの放送、PR動画の作成、PRTIMESの活用やマイクロインフルエンサーによる投稿、広報誌への寄稿など、多種多様なメディアを通じて広く情報を展開



かわさきフェア開催までの協働の取組

市立小・中・特別支援学校にて、子どもたちが自ら小さな苗やたねダンゴから花を作り、学校内外やフェア会場、地域の公園などに届け、市内全域で花かざりを実施（全170校で実施）

【市立小・中・特別支援学校】小さな苗から花づくり



【各コア会場】子ども達の手で花壇に植え付けて来場者をお出迎え



【地域の花壇】育てた花苗を届けて地域を花かざり



かわさきフェア開催までの協働の取組

「協働の取組」を次世代に継承するため、地域の学生が地元ボランティアの方々とみどりの活動を体験。学生がどう関われるか、愛護会活動も学ぶ。



小学生、保育園児、地域の管理運営協議会が協働で、こすぎ公園、及び武蔵小杉駅西口の植栽帯において、土壌改良等を行った花壇に花植えを実施。



こすぎ公園（保育園×小学校×管理運営協議会）



武蔵小杉駅西口（7保育園）

身近なまちがきれいになった！を子どもたちが体験

<フェア開催時に協働花壇でお出迎え>

■富士見会場エリア
教育文化会館前花壇



フェアを機に整備した花壇で協働で花植えを実現

■等々力緑地会場エリア
今井上町南緑道



フェアを機に再整備した緑道で園児、小学生と団体と協働で花植えを実現

■生田緑地エリア 飯室谷戸町会花壇



植物の種類が分かる案内板や作業がしやすい園路、水栓整備など

コア会場へのアクセス路において、地域と子ども達の協働花壇で来場者をお出迎え！

フェアを通して、まちづくりの成果を体感

秋開催：富士見公園会場

公式行事

令和6年10月19日（土）にオープニングセレモニーと総合開会式（出席者約1,000名）を実施

令和6年11月1日（金）に佳子内親王殿下の御臨席を賜り、全国都市緑化祭（出席者約500名）を開催



全国都市緑化祭



秋開催：富士見公園会場

富士見公園会場 リニューアルオープンした公園で、最先端の緑化技術や新しいみどりの価値を発信。

展示



ライトアップ



壁面緑化



庭園出展コンテスト



メインガーデン



GREEN×EXPO 2027 出展



ハンギングバスケット
コンテスト



トラックガーデン



かわさきの環境・100年



假屋崎省吾作品



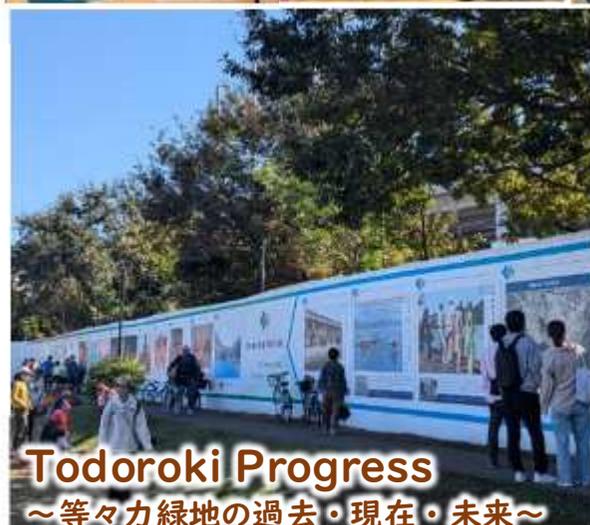
自治体出展花壇

秋開催：富士見公園会場



秋開催：等々力緑地会場

等々力緑地会場 体験・体感型コンテンツを織り交ぜ、ニューノーマルな屋外の楽しみ・過ごし方を提案



秋開催：等々力緑地会場

イベント



超芋まつりbyさつまいも博



ティラノサウルス大運動会inかわさきフェア



趣味の園芸フェア
inかわさき



花咲く
カワサキマーケット



ツリークライミング



森のあそび場



40,000ピースの
つみきであそぼう！



色んな三輪車に乗ってみよう



クロススポーツパーク
～play on the road～



みんなで
つくるテープアート
～play on the road～

秋開催：生田緑地会場

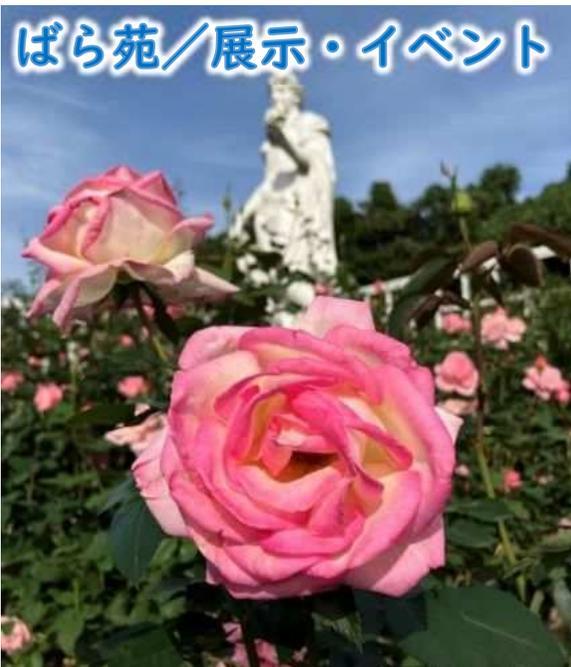
生田緑地会場 自然美がベースのみどり豊かな会場で、本物のみどりの価値を体験



秋開催：生田緑地会場



秋開催：生田緑地会場



秋会期のお花配り

秋会期閉幕に伴う花苗プレゼント

かわさきフェアに関わってくれた方々にスタッフ一同より、感謝と願いをこめて、花苗をプレゼント。みどりを育て、ともに生きるウェルビーイングな暮らしを。

富士見公園



**30日間の感謝をこめて、
メインガーデンのみどりを皆様のご家庭につなげます！**

～配布場所～ パークセンター前 インクルーシブなスポーツ広場

～実施日時～

- ①11月17日(日) 14:00～16:30 定員1,000名
- ②11月18日(月) 13:00～16:30 定員1,400名
- ③11月19日(火) 13:00～16:30 定員1,400名

※参加には整理券が必要です。 ※雨天決行・荒天中止
中止の場合は当日10時までに、かわさきフェア公式HPでお知らせします。

～整理券配布場所～ 富士見公園会場「総合案内所・パレット広場(南)案内所・芝生広場案内所」
※定員になり次第締切

～整理券配布期間～ 11月10日(日) 14:00～16:30
11月11日(月)～11月17日(日) 9:30～16:30

～注意事項～ スタッフが振り出した花苗をビニール袋に入れてお渡しします。
花苗は整理券1枚につき1袋です。
花の種類は選べませんので予めご了承ください。

～問い合わせ～ かわさきフェア情報センター ※～11月19日(火)まで
044-589-8691 (対応時間 9:00～17:30)



等々力緑地

秋フェア閉幕時の花配りの様子

生育期の取組（ボランティア参加の会場づくり）

ボランティアによる会場づくり

富士見公園、等々力緑地にて、ボランティア参加による春会場花壇の花植えを実施（12月、延べ76人参加）



富士見公園会場（芝生広場花壇）



等々力緑地会場（ロングボーダーガーデン）



等々力緑地会場（正面広場花壇）

学校花苗のサポート・協働花壇の植え付け

小学校等で行う春フェアでかざる花苗づくりをサポート（たねダンゴ10月、プラグ苗1月、延べ155人参加）

富士見公園会場でかざる花苗は、育てた子ども達とともに、協働花壇への植え付けを実施。



花苗づくりのサポート

たねダンゴ作りサポート
24校で実施（10月）

12月に各地域、
3月に等々力緑地会場へ



たねダンゴミックス
(キンギョソウ・カスミソウ・ネモフィラなど)

プラグ苗植付サポート
13校で実施（1月）

3月に各地域、
富士見公園会場へ



ビオラ

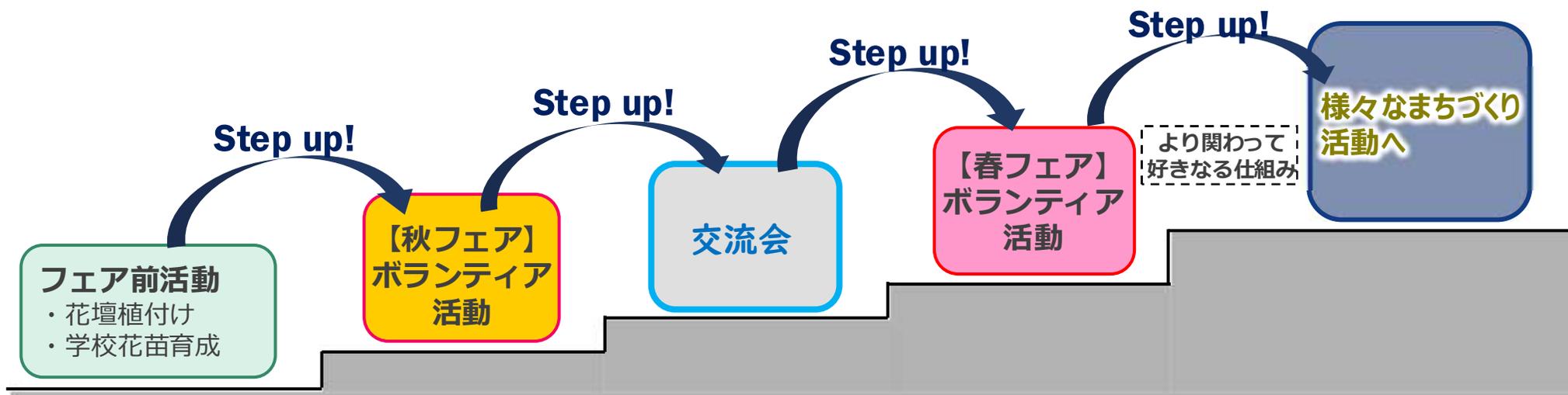


3月に子ども達と共に植付けを実施

生育期の取組（ボランティアの育成）

フェアボランティアの今後の活動に向けて

フェアでの活動をきっかけに、仲間や地域との関係性、まちづくりへの参画意欲をステップアップ。参画意欲が高まるフェア終了後に向けて、市内の様々な活動を紹介し、今後につなげていく。



交流会の実施（2月）

秋フェアにて共に活動した仲間と交流を深める場の設置

- ・秋フェア及びこれまでの活動の振り返り（意見交換）
- ・春フェア内容の紹介
- ・春フェアに向けた取組（花苗づくり）



市内の地域活動、みどりの活動の紹介

春フェアへの期待向上と共に、市内の取組を知ってもらう！

ボランティア交流会

開催日時 ①令和7年2月 9日（日）10時～
②令和7年2月12日（水）14時～
開催場所 ①中原区役所 ②川崎市総合自治会館
参加人数 約110名



春はもっとお客様に声をかけようと思う等々

春開催：富士見公園会場

公式行事

令和7年3月22日（土）にオープニングイベントを富士見公園で実施。

令和7年4月13日（日）に総合閉会式(出席者約1,100人)を実施し、ぎふフェアにフェア旗を引き継ぎ



総合閉会式では、子どもたちからのメッセージや、みどりのKAWASAKI宣言など、川崎のみどりの未来に向けたプログラムを実施。



春開催：富士見公園会場

花そのものの美しさを多くの来場者に感じていただくとともに、
みどりの価値を身近な暮らしの中に取り入れる技術の展示や体験をより提供。



春開催：富士見公園会場



花や緑の中で、音楽やアート、飲食など、
見る、聴く、遊ぶ、楽しむ、感じる

花や緑を身近に感じ、
暮らしに取り入れる様々な体験

夜の公園活用、集い・賑わいの場を創出

春満開を楽しむ風景

春開催：等々力緑地会場

より興味・関心を引く体験・体験を提供するとともに、多くの団体が参加し、フェア後の能動的なまちづくりにつながるきっかけづくりを実施



森のアート (アンブレラ)



花と和傘のインスタレーション



ACTIVE ARDEN
(40種類以上の体験型ガーデン)



森のアート (竹あかり)



五感の植物



ロングボーダーガーデン

春開催：等々力緑地会場



新たなまちづくりの担い手による企画・展示



花やみどりに囲まれて、



いつもと違う体験・体感



開放的なみどりのなかで
フードフェス、縁日、お花見



企画者自らがレクチャー！



春開催：生田緑地会場

自然に親しむ生田緑地らしい会場づくりを通して、生田緑地への愛着を高めるとともに、市民提案の企画など新たな取組にチャレンジ。

竹のエントランスゲート



藍と霧のメタセコイア



自然に親しむ企画展



色を楽しむ草木染アート



ミニガーデン



藍の薪ベンチ

春開催：生田緑地会場



自然の中で過ごす
楽しさを知る

季節ごとの美しさを知り、
新たな視点で魅力を再発見

みどりを支える人との交流を通して
より深い魅力を学ぶ

未来を支える子どもたちと
一緒に

春会期の取組（お花配り）

春会期閉幕に伴う花苗プレゼント

かわさきフェアに関わってくれた方々にスタッフ一同より、感謝と願いをこめて、花苗をプレゼント。みどりを育て、ともに生きるウェルビーイングな暮らしを。

富士見公園

等々力緑地会場 花苗の掘り取りイベント!

全国都市緑化かわさきフェアの会場を彩ったお花を配布します!

～花苗掘り取り場所 正面広場、ロングボーダーガーデン等
4月14日(月) 9:30～16:00 200種※全4回 各回1時間程度
4月15日(火) 9:30～16:00 200種※全4回 各回1時間程度
※参加には整理券が必要です。 ※1種5名まで参加できます。
※小雨決行・雨天中止
中止の場合は前日17時までに、かわさきフェア公認HPでお知らせします。

～整理券配布場所～ 等々力緑地会場「総合案内所」にて整理券を配布します。
※定員になり次第締切

～整理券配布期間～ 4月1日(火) 正午から(なくなり次第終了)

～注意事項～ 日程や時間の変更は申込状況によりお受けできない場合がございます。予めご了承ください。

～持ち物～ スコップ、軍手、お持ち帰り用のビニール袋等
必要な道具は持参してください。

～問い合わせ～ かわさきフェア情報センター ※～4月14日(月)まで
044-859-8691 (対応時間 9:00～17:30)
川崎市建設緑政局緑化フェア推進室 ※4月15日(火)
044-200-1736 (対応時間 8:30～17:15)

**23日間の感謝をこめて、
等々力緑地のお花を皆様のご家庭につなげます!**

※今回配布する以外の会場のお花については、地域や公共施設で利用します。




等々力緑地

春フェア閉幕時の花配りの様子

植物調達

植物調達協議会を立ち上げ、計画的な調達・植付・監理を行い、円滑な調達を実施。

春会期は市内産のパンジー・ビオラ等の多数の植物を調達し、来場者に楽しんでいただくことができた。

	秋会期向け植物	春会期向け植物	合計
市内調達	3,000株	68,000株	71,000株
県内調達	45,000株	45,000株	90,000株
市場等からの調達	79,000株	107,000株	186,000株
合計	127,000株	220,000株	347,000株

※1,000株単位で四捨五入

種類数と主な品目

- ・種類数：**334種類** ※同一品種でも色が違う場合は1種類として計上
- ・主な品目 ※使用する数量の多い種類を抽出

〔秋開催〕

- アカバセンニチコウ
- アンゲロニア
- キバナコスモス
- コスモス
- サルビア
- コリウス
- ペンタス
- ジニア
- マリーゴールド
- ミューレンベルギア



- ・種類数：**242種類** ※同一品種でも色が違う場合は1種類として計上
- ・主な品目 ※使用する数量の多い種類を抽出

〔春開催〕

- キンギョソウ
- クリサンセマム
- ネモフィラ
- パンジー
- ビオラ
- ポピー
- ヤグルマギク
- ラナンキュラス
- リナリア
- ワスレナグサ



地域との協働による取組

みどりと掛け合わせたイベント

市内各地で、フェア期間を中心に、みどりと掛け合わせを意識したイベントを実施

秋

みどり×清掃活動×灯籠流し

清掃活動参加者に、灯籠流しキットをプレゼント！
地域団体と一緒に、キレイになった川で夏を感じる



ニヶ領用水（今井上町緑道）
灯籠流し

みどり×動物



夢見ヶ崎動物公園
動物体験プログラム

みどり×賑わい



こすぎコアパーク
KOSUGIキャンドルナイト

みどり×映え



緑化センター
フォトスポット

みどり×アート



黒川地域（本庁舎展示）
緑と道の美術展

みどり×コミュニティ



菅生ヶ丘公園
ParkUP LifeUP kawasaki

地域との協働による取組

みどりを取り入れたまちの魅力を高める取組

企業や地域住民との連携による地域資源を活かしたコミュニティ形成やまちの魅力向上

春

清掃活動参加者が、桃の木の植樹を体験！
さらに川に浮かべたボートから桜を眺める特典も！

みどり×清掃活動×川下り



ニヶ領用水（今井上町緑道）
お花見川下り

みどり×制作体験×おもてなし

寄せ植え作品で、
春のお出迎え！



円筒分水スプリングフェスタ

みどり×清掃活動×アート

キレイにした後は、みんなで絵描き！
プロの仕上げで本格的な作品に



国道246号・新二子橋
橋脚をキャンバスにしたアート制作

かわさきフェアに関する声（アンケートより）

フェアボランティア向けアンケート（一部抜粋）

「フェアをきっかけに始めたみどりに関する取組・活動について」

多摩区みんなの公園体操に参加しています。この公園の清掃活動があることを知り参加。小さな空き地に花壇を作ることになり水やり程度ですがお手伝いしています。

自治会で花壇づくりを始めました。

市民アンケート（一部抜粋）※自由記載欄より

川崎市は公園も多く、どちらかというと緑を見ることが多いので、保護活動に貢献する行動をしていきたいと感じました。

みどりがあふれる街になると子育てもしやすい子ども達も喜ぶと思います。

緑に関心をもつ良い機会になった。

緑化活動には手間がかかる半面、育てる喜びもあります。これからも家族みんなで活動に参加します。

緑は生活の中でとても重要ですがどうしても若い時はあまり理解できないものだと思うので、若い人達にも緑の重要性を分かりやすく伝えられ、若い人達が気軽に参加できるイベント等を今以上にやってほしいと感じました。

川崎の外れに住んでいるのでイベント参加は遠く、なかなか難しいです。子供が自立して時間ができた時にゆっくり参加したいなと思っています。

【協働推進】

- 令和5年度からプレ栽培をはじめ、令和6年度は、市立小・中・特別支援学校全170校で、「協働の花づくり・花飾り」を実施。自分たちの育てた花苗が、多くの人が訪れる会場や、まちなかの身近なところに飾られる機会を創出し、まちに関心を持つことにつながることができた。
- 「みどりでつなげる、暮らしやすく、住み続けたいまち」の実現を目指す、企業・団体発の自発的な共創の取組「みどりの共創プロジェクト」が立ち上がった。フェア会場や公共空間などでイベントを開催し、フェア終了後もメンバーを増やしながらか、市内各所での取組を生むつながりの輪ができた。
- 植物管理、会場運営ボランティアを募集し、10代から80代までの幅広い年代の458名が登録。登録者のうち約2割が高校生及び大学生と、若い世代が多く集まった。会期前から会場づくりにも参加いただき、秋と春の間に交流会を実施するなど、長期間、定期的に活動したことは、今後のまちづくりの担い手として、大きな力になると考えている。



「協働の花づくり・花飾り」学校での授業の様子



midoriba-fes (富士見公園会場)

【観客誘致・広報宣伝】

●かわさきフェア1年前などのカウントダウンイベントとともに、市制100周年記念事業をはじめとした、多くのイベントとの連携により機運醸成の取組を展開。音楽、スポーツなどの要素や話題を活用しPRすることで、みどりに関心のある層以外にも、かわさきフェアの開催を知っていただくきっかけとなった。

●公共交通機関の車内広告のほか、駅の構内やバスラッピング等を活用し、多くの人が利用する場所で、効率的な広報を実施。まちを彩ることで、かわさきフェアを知り、イベントの盛り上がりを演出した。

●ホームページ、SNSやTV、ラジオなどのマスメディア、広報用ツールとしてのノベルティグッズの活用など、ターゲット層に応じたメディアの活用等で、市内外を問わず、幅広い年代に届くよう広報を実施した。

【協賛】

●開催の趣旨に御賛同いただき、資金協賛、物品等協賛、広告協賛に加え、会場の展示、会場運営など、多くの場面で企業・団体の皆様の御支援をいただくことができた。



開催100日前イベント(ラゾーナ川崎プラザ)



フェア会場への企業・団体名の掲載

【会場】

●富士見公園は「多様性×みどり」をコンセプトに、花満開のメインガーデンをはじめ、花そのものの美しさを多くの来場者に感じていただき、トラックガーデンや壁面緑化では国内最先端の緑化技術の提案により、新たなみどりの活用を広く知っていただくことができた。夜の公園や道路空間を利用して、都市ならではのみどりの価値を表現した。

●等々力緑地は「体験・体感×みどり」をコンセプトに、開放的なみどりの中で、花やみどりの写真を撮ったり、飲食を楽しんだり、思い思いの時間を過ごしていただけた。平日は、アクティブガーデンや積み木、出張動物園など、子どもたち向けのコンテンツが人気で、何度も御来場いただきました。休日は、ステージ、縁日など、みどりに関心のない層にも楽しんでいただけるコンテンツもあり、ファミリー層を中心に多くの方に来場いただき、春は3会場で最も多くの方々が訪れた。

●生田緑地は「歴史・文化×みどり」をコンセプトに、「自然に親しみ、遊び・学ぶ」生田緑地らしい会場を子どもたちや家族連れをはじめ、様々な方に楽しんでいただけた。夜のイベントや3館との連携、気球体験等の市民提案企画など、新たな取組にチャレンジできた。里山保全に係わる団体等のPRや出展団体同士の情報交換が行われ、新たなつながりが出来た。



富士見公園会場 メインガーデン(春)



等々力緑地会場 アクティブガーデン(春)



生田緑地会場 藍と霧のメタセコイア(秋)

【出展展示】

- 自体体出展花壇や、企業・団体等による庭園出展コンテスト作品、ハンギングバスケット・コンテナガーデン出展コンテンツ作品、高校生を対象とした全国造園デザインコンクールの受賞作を展示。決められたスペースに、参加者の持つ技術が込められた作品を来場者に味わっていただくことができた。
- 様々な素材や手法を活用し実際の壁面を使った色鮮やかな壁面緑化を展示。平易な言葉を使った解説板を設置することで、各技術の違いを分かりやすくし、来場者に都市緑化の技術の進歩を実感していただくことができた。

【植物調達】

- 安定的かつ計画的な植物調達体制を構築し、市内産などの地域の植物を活用するとともに、市民協働による花苗育成や植付を行うなど、多様な主体と連携したみどりで、市内を彩った。



庭園出展コンテスト「みどりのワークスペース部門」



垂直花壇 Vertical GARDENS

【行催事】

- 市民総参加でつくりあげ、盛り上げるフェアの節目に、市民、企業、団体や庭園出展者、行政関係者等を招待した開閉会式や、中心的行事である全国都市緑化祭等を開催。
- 花やみどりに関連するワークショップ、川崎市内を中心に活動する方々によるステージプログラム、自然の中で体を動かす企画など、来場者の家族構成や年齢などのターゲット層を意識して、平日、週末等にコンテンツを配置。みどり以外の様々な要素も取り入れることで集客を行い、来場のきっかけ、会場の盛り上げに貢献した。
- 夜の公園の利活用として、メインガーデンや桜のライトアップを実施。週末には音楽や飲食、アートを取り入れた特別企画を実施。会期中の夕方から夜にかけて、日中とはまた違った魅力・雰囲気を楽しんでいただくことができた。

【飲食・物販】

- 市内店舗やかわさきマイスターによる出店など、川崎ならではの魅力を飲食・物販を通じて知って、楽しんでもらう、また、花の販売などを通じて、家にみどりを持ち帰っていただくことができた。出店募集時に、プラゴミ排出量低減策の記載を必須とし、出店者が排出量削減に取り組んだことは、今後につながるものと考えている。



とどろぎキッズパーク
2万ピースの積み木やおもしろ乗り物で遊ぼう！



Green TARO Night(秋)

ナイトガーデンマーケット(春)

【会場運営・管理】

- 案内所等を設置し、車イスやベビーカーの貸出し、授乳室・救護室、情報発信などの来場者サービスを展開。パーソナルモビリティの貸出も行うなど、安全かつ安心に会場内を自分のペースで見えていただくためのサポートができた。
- 様々な技術やノウハウを有する企業や指定管理者等と連携した効率的な取組、エコステーションの設置による資源リサイクルの推進など、環境負荷低減を意識した会場運営・管理を実施。今後のイベント開催につながる取組例として示すことができた。
- フェア全体の情報を集約し、「来場者向け」や「関係者向け」に整理したうえで、それぞれに正確な情報提供を行う情報センターを開設。雨天による中止なども含め、展示やイベント、遺失物など幅広い内容の情報を、集約することで円滑な問合せ対応、関係者間での情報共有を図ることができた。

【交通輸送】

- 地域特性や交通事情、環境への配慮を踏まえつつ、既存の公共交通機関に加え、公共交通を補完するシャトルバス等を運行するなど、円滑な来場サポートを展開。



富士見公園(案内所)



生田緑地(グリーンスローモビリティ)

【まとめ】

- かわさきフェアの様々な取組を実施したなかで、かわさきの多様な魅力とみどりを掛け合わせ、暮らしの中にみどりを取り入れるきっかけや気づきとなること、みどりを通じて、多くのつながりを生むことができました。
- 次の100年に向けて、かわさきフェアでできた多くの人たちとのつながりをさらに多くの人に広げていくため、身近なみどりに興味・関心を持って、主体的に取り組んでもらえるよう引き続き、取組を継続していきます。

閉会式における100年先の未来への誓いとなる「みどりのKAWASAKI宣言」により、持続可能なよりよい社会の実現を目指す川崎市で、ともに暮らし、働き、学ぶすべての人とともに、つながりの輪をさらに広げ、新たなステージへと歩みを進めていくことを宣言いたしました。

みどりのKAWASAKI宣言～100年先の未来への誓い～



【みどりのKAWASAKI宣言】

100年前、多摩川流域にみどりが広がるこの地で産声を上げたこのまちは、京浜工業地帯の中核として発展していく中で、市民や企業など多くの皆様とともに力を合わせ、様々な環境課題を乗り越えてきました。

私たちは、自然とともに生き、成長することの大切さを理解し、気候変動や生物多様性など、世界が直面している様々な課題に対して真摯に取り組み、持続可能なよりよい社会の実現を目指します。

今日ここに、私たちは、豊かなみどりを守り、育て、親しみ、人々が心豊かに暮らす100年先の未来に向けて、川崎とともに暮らし、働き、学ぶ全ての人々とともに、つながりの輪をさらに広げ、新たなステージへと歩みを進めていくことを誓います。

- 1 多摩川や丘陵地など、貴重な自然を保全・活用するとともに、まちなかにおいても、自然とふれあう、つながりのあるみどりを生み出すなど、生物多様性の豊かなまちづくりを進めます
- 1 川崎らしい歴史・文化を未来につなげる魅力的なみどりの拠点づくりを進めるとともに、市民や企業など多くの皆様とグリーンコミュニティを育て、未来につなぎます
- 1 身近な地域から地球規模にわたる様々な環境問題、社会課題の解決に向けて、みどりが持つ価値と川崎が誇る多様なポテンシャルを掛け合わせ、人と自然が共生する幸福な社会の実現を目指します



みどりのKAWASAKI宣言に基づく取組

身近なところからはじまる、“私たちのみどり”を実感できる取組

(川崎らしいみどりの取組 グリーンコミュニティの形成)

私たちの身近なところから、みどりが持つ多様な価値を活かし、未来につながる取組を生み出し、継続・発展させていきます。

社会の基盤となる自然をより豊かにする取組

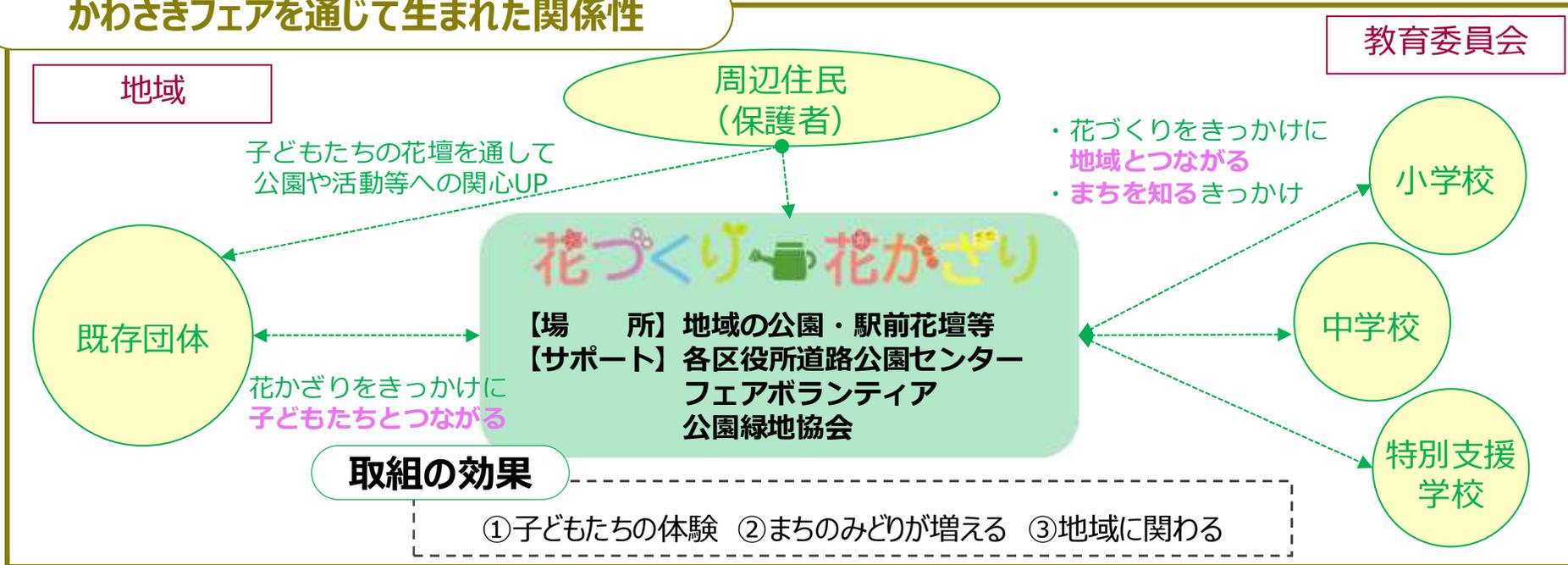
(ネイチャーポジティブやサーキュラーエコノミー、生物多様性の実現)

多摩川、緑地、臨海部、市街地を有する川崎ならではの立地を活かした、みどりの価値を創り出すとともに、人の生活や企業の活動と、生き生きと育つ自然が一体となったまちの実現に取り組みます。

本日は、かわさきフェアを契機に、
身近なところから始まっている取組を紹介いたします。

- 01 小学校等と連携した「花づくり・花かざり」を契機とした子どもたちが地域と関わる活動
- 02 「地域団体と子どもたちのつながり」をきっかけとした、いきいきとした協働の取組
- 03 「協賛花壇」をきっかけとした、企業・商店街・地域の花壇活動への参画
- 04 「フェアのボランティア」をきっかけにした、様々なまちづくり活動への参画
- 05 「企業・団体等の共創」をきっかけにした、みどり×コミュニティの進展
- 06 公園管理を担う民間事業者が仕掛ける、ライトな公園管理への参画
- 07 地域住民が主体となった、芝生のある公園づくり
- 08 様々なコミュニティ形成と取組を生み出す公園
- 09 新たな公園の利活用に向けた取組
- 10 既存のイベントと連携して、みどりの魅力を体験するコンテンツの提供

かわさきフェアを通じて生まれた関係性



取組の方向性

■ 市立小・中・特別支援学校全校（170校）で育てた花苗を、地域の花壇などで活動している方に届けるとともに、身近な公園での花植えイベントを行い、**住民が公園に関わるきっかけを生む**

■ 公園等の花かざりに加え、花苗を用いて子どもたちが **地域の様々な方と関わりを広げていく。**

（例：高齢者施設や商店等）

※令和6年度の事例として、特別支援学級の生徒と、お世話になっている地域の商店との、花苗のバトンによるつながりが誕生



特別支援学級からお世話になっている地域の洋菓子店へ



具体的な取組

主体 市立小・中・特別支援学校（170校）

時期 令和7年9月に学校で植付け ⇒ 10月～11月に身近な公園等に植替え

場所 市立小・中・特別支援学校（170校）で花苗を育てる
⇒ 身近な公園、まちなか、商店等の花壇に植える
さいわいふるさと公園、こすぎ公園、神木公園ほか **70公園以上**
さいわい緑道、今井上町緑道、二子坂戸緑道
野川西蔵寺丸緑地、菅北浦緑地、白山南緑地、葉積緑地

方法

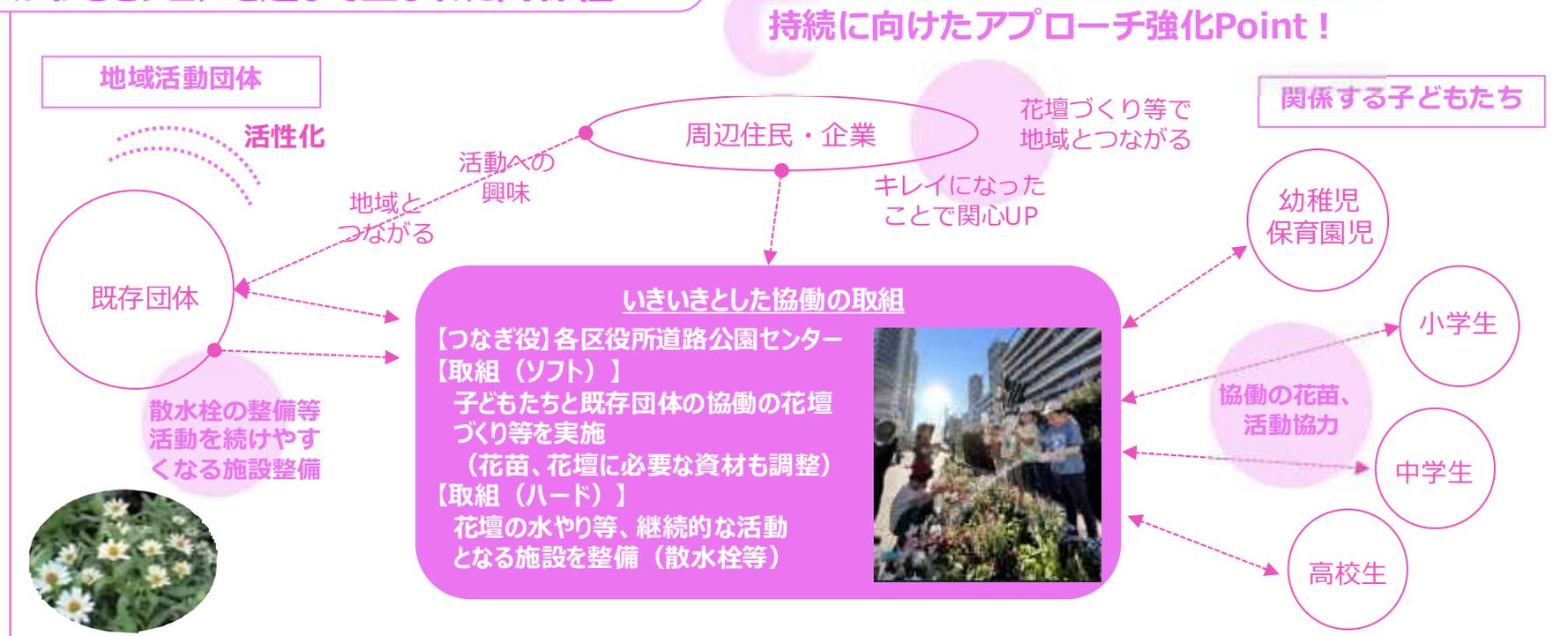
- 学校で育てる際に各区道路公園センター、フェアボランティアが支援
- 花壇に植え替える際に、イベント仕立てにし、地域住民が参加する
- 花苗を撤去する際も、切り花や花手水など参加者が楽しめる仕掛けを実施

フェア後も継続していきます



02「地域団体と子どもたちのつながり」をきっかけとした、いきいきとした協働の取組

かわさきフェアを通じて生まれた関係性



取組の方向性

- フェアを契機に生まれた**関りの継続、情報発信**
- 小学校等と連携した「花づくり・花かざり」と連携した、**活動協力**
- 資材の提供や管理活動への参加など**周辺企業との連携**
- 水栓整備（自動灌水装置）など花壇の**継続的な管理に向けた設備導入**

将来像の実現に向けた展開 **活動に必要な施設整備に加え、地域をつなぎ、持続する取組へ**

02「地域団体と子どもたちのつながり」をきっかけとした、いきいきとした協働の取組

具体的な取組

主体

既存団体（こすぎこんぽすと部、シニアの力、中原桃の会、フローラ川崎）

時期

令和7年6月28日 土づくり・花植・ペットボトルジョウロづくり

令和7年8・9月 ごみ拾い&灯籠流しイベント

令和7年11月 花壇の花苗撤去、春植付け

場所

こすぎ公園、今井上町緑道、川崎駅東口駅前広場花壇

方法

○既存団体と保育園や高校生と一緒に花壇づくり

○お散歩のときに水やりをしてもらうなどライトな管理参加

○既存団体が主体となって灯籠流しや、お花見川下りなどの地域資源を活かした季節イベントをごみ拾いとセットで実施する。

○地域住民が身近な公園等に関わってもらうきっかけをつくる。

地域への溶け込み

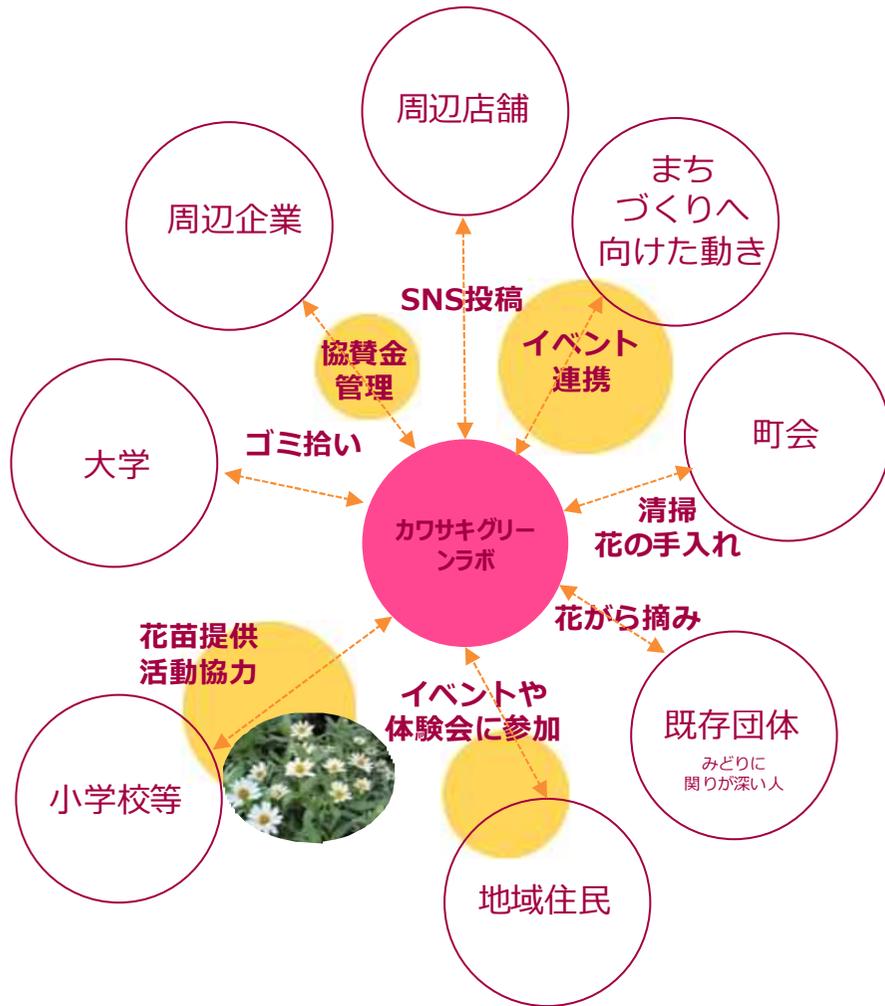


愛護会の方から
高校生が活動を学ぶ!

03「協賛花壇」をきっかけとした、企業・商店街・地域の花壇活動への参画

かわさきフェアを通じて生まれた関係性

持続に向けたアプローチ強化Point！



取組の方向性

- 小学校等と連携した「花づくり・花かざり」と連携し、花苗提供と維持管理の連携を発展
- 周辺企業との維持管理や協賛金を通じ、企業と地域の接点を生むきっかけの継続
- ボランティアの定着化に向け、管理手法の指導の継続
- 駅前での気軽な関りを誘導する、花壇を活用した植付イベントや体験会を入口とした管理への誘導の継続



将来像の実現に向けた展開 **みどりをきっかけに地域と企業が自然と交流し、まちの魅力向上へ**

03「協賛花壇」をきっかけとした、企業・商店街・地域の花壇活動への参画

具体的な取組

主体 地域の企業・団体等（協賛企業・団体等）、地域住民

時期 夏花壇 令和7年5月に植付け実施済み
春花壇 令和7年11月に植替え予定

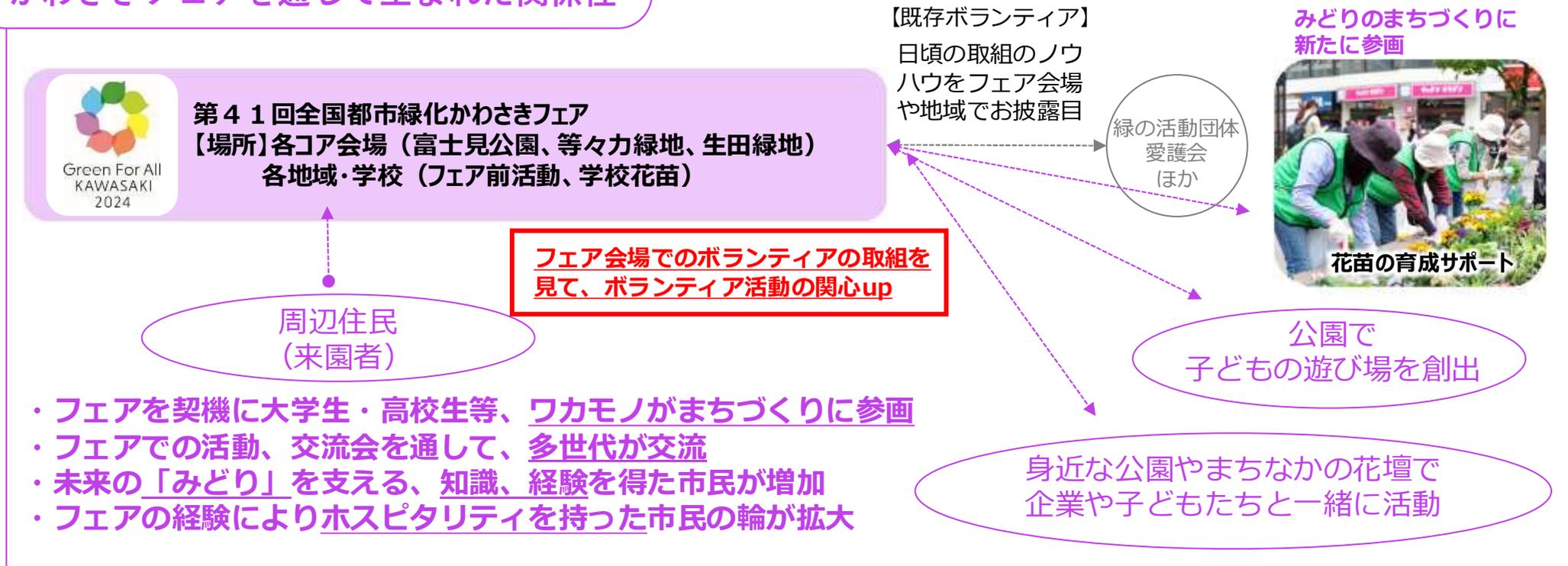
場所 市役所通り花壇
キングスカイフロント花壇
向ヶ丘遊園駅前花壇

- 方法**
- 地域の企業・団体等からの協賛金を活用し花壇の運営を行う。
 - 花壇活動により企業と地域の接点を生み、まちの魅力向上を図る。
 - 参加企業情報を含め、活動内容を現地やホームページ等により紹介する。
 - 植付イベントや体験会などを入口として気軽に参加できる管理へ誘導を継続



04「フェアのボランティア」をきっかけにした、様々なまちづくり活動への参画

かわさきフェアを通じて生まれた関係性



取組の方向性

- フェアでの活動を通して、**仲間や地域との関係性、まちづくり参画の意欲がステップアップ**している
- フェアの成功を通して得たまちづくり**参画への意欲**を、今後につなげていく
- フェアを契機に、身近な公園やまちなかの花壇づくり、子どもの遊び場など、**みどりのまちづくりへ参画**していく、ムーブメントにつなげていく



将来像の実現に向けた展開 **フェアを契機に、みどりに主体的に携わる仲間が広がっていく**

04「フェアのボランティア」をきっかけにした、様々なまちづくり活動への参画

具体的な取組

主体 フェアのボランティア等

時期 ○花壇 5月、11月、3月（学校の花苗、地域団体と子ども、協賛花壇）
○子どもの遊び場（10/4、10/13、11/22、12/14、2月、3月）

場所 ○花壇 学校の花苗10公園、今井上町緑道、川崎駅東口駅前広場花壇
市役所通り、キングスカイフロント、向ヶ丘遊園駅前花壇
○子どもの遊び場 富士見公園、御幸公園、丸子橋河川敷、橘公園、
緑化センター、王禅寺ふるさと公園

方法 ○ボランティアの個性が活かせる、様々な活動をメール等で周知
○ボランティア活動証明書の発行等による参加の動機付け
○ボランティア活動により、地域の方々との関係性構築を促す。

花壇づくりに参画



様々な活動に



05 「企業・団体等の共創」をきっかけにした、みどり×コミュニティの進展

かわさきフェアを通じて生まれた関係性



みどりの共創コミュニティ midori-ba
【取組テーマ】コミュニティ×みどり
【取組場所】・富士見公園・大師公園（川崎区）
 ・SUPERNOVA KAWASAKI（幸区）
 ・福祉交流農園「VOVO」(中原区・高津区)
 ・橘公園・eM/PARK・Nokuchi-Lab.（高津区）ほか

【midori-baメンバーズ15団体】

※R7.7.23時点

- HYAKU KURA
- NPO法人 あかね
- サステイナブルなひと、生活クラブ
- 株式会社ワイエムビー/greening
- HORI PRO
- PEAK STUDIO
- 野菜だいすきファーム
- Hakula's

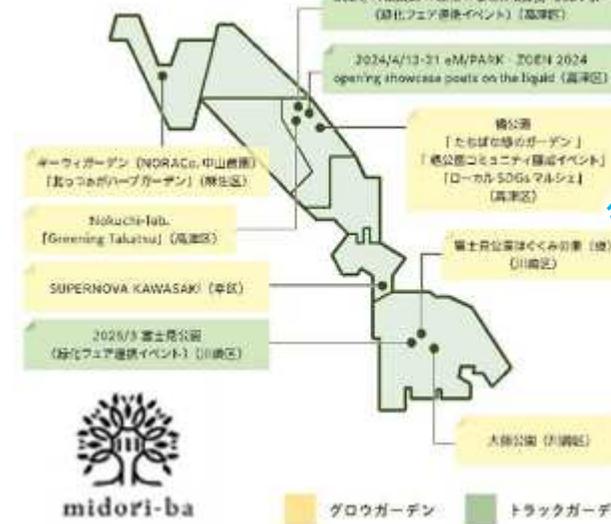
他

レガシーとなる取組の方向性

- midori-baとしてNPO法人化し、ホームページやSNSを通じて取組を推進
- 市内各所でプロジェクトメンバーが、グロウガーデンやトラックガーデン、トークセッションイベント等の取組を実施
- 参画する仲間を増やし、収益性を確保し、自走化

Vision
midori-ba あふれる社会の実現
Mission
 みどりを求める全ての人をツナグ存在になる
 みどりで市民の行動変容を促す存在になる

【令和6年度取組場所】



クリスマスリースづくり



みどりに関わる出展、WS実施

05 「企業・団体等の共創」をきっかけにした、みどり×コミュニティの進展



具体的な取組

主体 みどりの共創コミュニティ midori-ba

時期 6月・11月 : フェスイベント (KIRARI FES、midori-ba FES)
10月12~13日 : midori-baマルシェ
※その他、各地でみどりのイベント等を開催

場所 農体験 : こども文化センター・大師公園、福祉交流農園VOVO 等
自然体験 : 橘公園、Nokuchi-Lab. 等
その他 : 溝口キラリデッキ、SUPERNOVA KAWASAKI 等

方法 ○活動の自走化に向けて、令和7年度中にNPO法人化を予定
○midori-baの参加者を増やし、地域や行政と連携したまちづくりの推進
○更なる共創を目指しトークセッションイベント等の開催を予定



KIRARI FES @溝口キラリデッキ



さつまいも植付け・焼き芋体験
@日進町こども文化センター、大師公園



midori-ba FES X'MAS MARKET
@ SUPERNOVA KAWASAKI



06 公園管理を担う民間事業者が仕掛ける、ライトな公園管理への参画

かわさきフェアを通じて生まれた関係性

P-PFI事業者 & 地域住民

フェアの花壇を移植
地域の方と植付



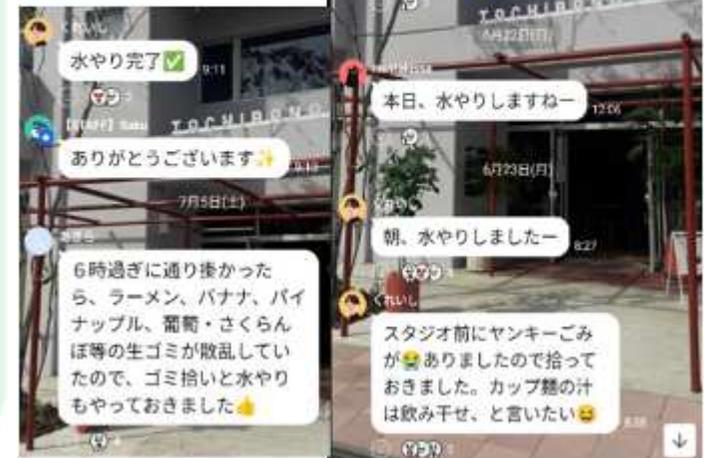
P-PFI事業者

LINEの
オープンチャットで
水やりを呼びかけ！
時間帯は自由
土日も歓迎
メッセージで完了報告



地域住民

匿名の方が水やり
& ごみ拾い



取組の方向性

- 橋公園では植え付けをイベント化し、地域の方と一緒に植付するとともに、「PARK AID」と称して、水やりをしてくれる仲間をLINEオープンチャットで募集
- 匿名で水やりやごみ拾いをしてくれる方がいらっしゃることから、オープンチャットなどの手法による、**ライトな公園管理のかかわり方**について**横展開**を行う



06 公園管理を担う民間事業者が仕掛ける、ライトな公園管理への参画

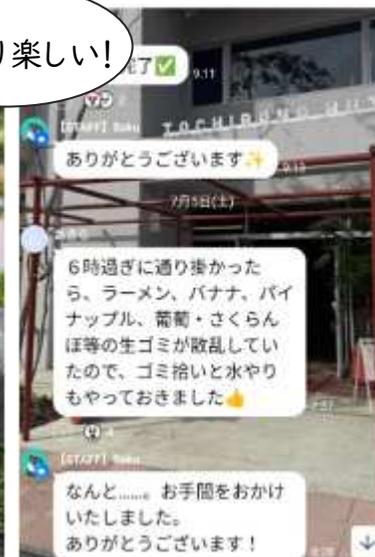
具体的な取組

主体 地域住民、ピークスタジオ(P-PFI事業者)

時期 令和7年5月15日運用開始
令和7年5月31日にフェア花壇植替え。3日に1度ペースで水やり

場所 橘公園

- 方法**
- LINEオープンチャットで水やり呼びかけ
 - いつ、誰が、活動してもよい
 - 地域の方が登録し、水やりやごみ拾いを実施⇒チャットで報告・共有
(事業者が顔を知らない方も)
 - 今後は実施日を決めて、顔の見える関係&慰労するタイミングも検討



07 地域住民が主体となった、芝生のある公園づくり

かわさきフェアのタイミングで生まれた関係性

地域

公園づくり
ワークショップ

自分たちの思い
管理運営への参画

管理運営
協議会



登戸つくりと公園 令和7年3月末オープン
芝生びらき 令和7年7月28日(月)

保育園・地域住民

・芝生広場の使い方を知る
お知らせ会



取組の方向性

- 登戸区画整理のタイミングで、地域住民のワークショップにより、芝生の広場をメインとした新しい公園を整備
- 自分たちの思いを実現するため、管理運営協議会を設立
- 芝生を養生し、水やり・草刈・施肥などにより大切に育ててきた
- 令和7年7月28日(月)に、芝生びらきとして、保育園や地域へのお知らせ会を実施
- **自分たちの思いが実現する公園の整備・運営**の市内先行事例として、活動の経過を追いつつ、**横展開**にむけて**活動の課題や、喜び・苦悩**などを検証していく



将来像の実現に向けた展開 **自分たちの思いが実現する公園の整備・運営**

07 地域住民が主体となった、芝生のある公園づくり

具体的な取組

主体 登戸つくりと公園 管理運営協議会（新設）

時期 令和7年3月末に公園オープン（区画整理事業）
令和7年7月28日に芝生広場オープン

場所 登戸つくりと公園

方法

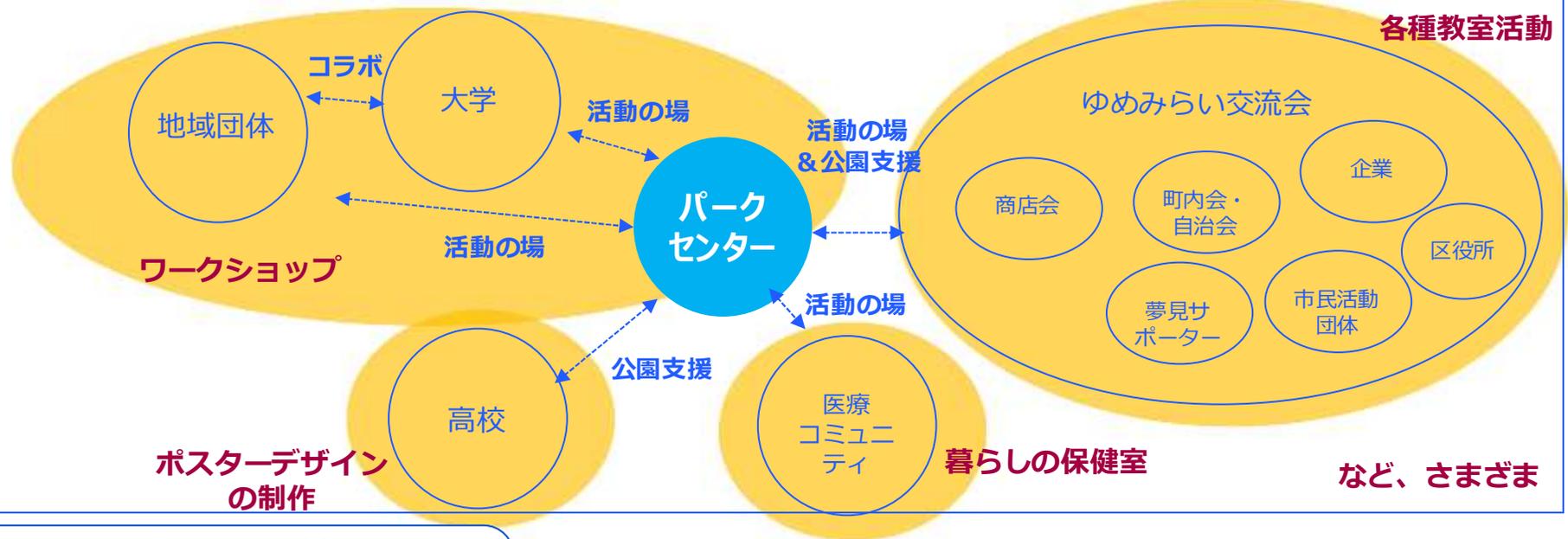
- 公園づくりからワークショップで地域住民が参加
- 自分たちの思い（芝生広場）を実現するため管理運営協議会を設立
- オープンに向け芝生管理と、保育園や地域向けのお知らせ会を実施



08 様々なコミュニティ形成と取組を生み出す公園

かわさきフェアのタイミングで生まれた関係性

夢見ヶ崎動物公園のパークセンターの供用開始をきっかけに、様々な主体との協働連携の場として活用



取組の方向性

- パークセンターの供用開始されたタイミングで、これまで活動していた団体や新たな連携がスタート
- 動物や自然など「いのちを感じる」ことをテーマに、パークセンターで様々な主体が出会い、新たなコラボが生まれ、様々なボランティア活動が盛んに
- 地域コミュニティの拠点として子育て支援、居場所づくり、いのちの学びの場として活用
- 地域の方が主体的に取り組む日吉出張所と連携した季節イベントの実施も
- コミュニティを繋げる場所として公園を利活用し、今後のまちづくりにつながる拠点の一つとして、引き続き、夢見ヶ崎動物公園としての魅力を発信するとともに、各コミュニティ活動を支援していく

将来像の実現に向けた展開 **コミュニティ形成の場としての公園の活用**

08 様々なコミュニティ形成と取組を生み出す公園

具体的な取組

主体

高校、大学、NPO法人、ゆめ未来交流会、地域団体など

時期

令和6年10月 パークセンターオープン

場所

夢見ヶ崎動物公園

慶應義塾大学大学院・NPO法人はたらくらすがコラボしたワークショップの開催

パラアート展の開催!



子育て交流の拠点に



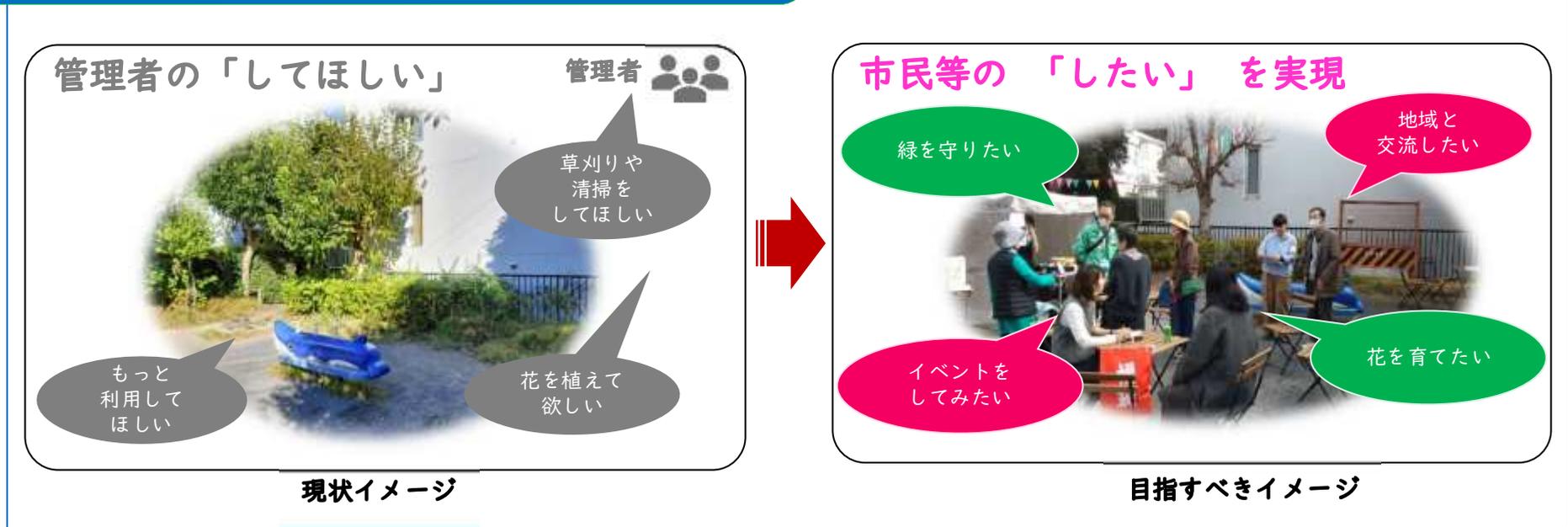
園児が育てたサツマイモを動物公園にプレゼントする取組も



暮らしの保健室
となり文庫分室をオープン



かわさきフェアのタイミングで生まれた関係性



取組の方向性

- 「みんなが気持ちよく、いきいき過ごせる公園」の実現を目指し、市民の方々がしたいことを実現できる環境を整備
- 公園の維持管理や各種手続き、新たな公園の使われ方などについて、冊子による啓発やSNSを活用して情報を発信
- 活動団体の高齢化など協働の担い手確保が課題となっており、公園での活動や維持管理について学べて体験できる場の創出
- 利活用の事例をプログラムに取りまとめるなど、市民や活動団体に向けた様々な活動支援を拡充

将来像の実現に向けた展開

公園の利活用を通じて協働の取組を推進

フェアボランティアと一緒に公園で花壇づくり



こすぎ公園での花壇活動

09 新たな公園の利活用に向けた取組

具体的な取組

主体 公園利用者、地域に根差した団体、管理運営協議会など

時期 令和6年10月～

場所 大師公園、富士見公園、北加瀬ゆりのき公園、平間公園、小杉公園、等々力緑地、生田緑地

- 方法**
- 公園で市民のしたいを実現した利活用イベントを開催
 - 公園の使いこなし方や利活用について啓発する「使いこなしカフェ」の実施
 - 公園での活動や維持管理について学べ・体験できる「イドバタパークデイ」や活動への第一歩となる「イドバタカフェ」を開催
 - 公園の利活用を通じて、清掃ボランティアなどみどりに関わる仲間が広がる



大師公園でナイトピラティスを開催



富士見公園での使いこなしカフェ



北加瀬ゆりのき公園での清掃活動

かわさきフェアを通じて生まれた取組

夜の公園の活用などフェアで試した新たな取組を継続していくとともに、既存のイベントにおいてみどりの魅力を発信していく。



取組の方向性

- 指定管理者が実施するイベントにおいて、フェアで好評であった取組やみどりの効果を発信できる取組を継続実施していく。
- みんなの川崎祭や市民祭りなど、既存の様々なイベントの中でも、公共空間の有効な活用やみどりを活用した展示等、みどりの魅力を発信する。

将来像の実現に向けた展開 **みどりの取組の各種事業・イベントへの受け込みと継続**

「みどりで、つなげる。みんなが、つながる。」
今までも、これからも。

